



<1学期が終了します。>

7月19日、成績会議・職員会議を行い、皆さんの1学期の生活や学習の状況について話し合いました。多くの生徒が努力している様子が見られ大変うれしく思います。特に、出席については、1年133名、2年54名、3年61名の皆勤の生徒がいます。また昨年度より出席率も向上し、少しずつ学校生活への取り組みの姿勢が改善されています。けれども、一方で何度も遅刻を繰り返し生活リズムが乱れたままの生徒もいます。また、様々な課題があるのだとは思いますが、欠席が増えれば当然授業についていくことも難しくなります。級友との関係も触れ合う機会が減り、理解し合うことや仲良くなるのが難しくなります。

担任や学年は、個々の生徒について、心を砕いて指導しています。1学期思うように過ごせなかった人は、また一からスタートすればよいのです。この夏の期間に、これからのことを考えしっかりと目標を持ちましょう。高校卒業後に、ひとりの人間として自立していく方法を探しましょう。働くのか、働く為の力をつけるのか、技を身につけるのか、進路選択は自分の一生を決める重要なことです。情報と、今の自分の実力と進路に見合った努力を今から始めていきましょう。

<第2学期は、新たな出発を>

第2学期の学校生活を気持ちよくスタートできるよう努力してください。

3年生は、進路決定の大事な時期です。自分なりの将来設計を完成する時です。1学期クラスの雰囲気はいかがでしたか。努力する人の進路妨害をしている人はいませんか。ひとりひとりの生き方やあり方が重要で、そのための環境も重要です。2学期のクラスや学年、学校の雰囲気が、生徒一人一人をしっかりとバックアップする体制を作っていきましょう。3年生の皆さんは、自分を信じ、誠実な努力を重ね、粘り強く挑戦しましょう。

2年生は、進路実現に向けて、基礎力を充実させる時期です。文化祭や体育祭という行事を中心になって実行し、その中で人と人との関係を調整し、段取りをつけること等、将来職業に就いた時に必要な力も身につきます。学力の向上と同時に人間関係を築く力、社会適応能力を向上させていく必要があります。行事に打ち込み、仲間との協働体験を通じ、人間力を高め、学年の大きな行事、修学旅行を成功させましょう。

1年生は、学力を基本に、学校生活・社会生活の基本的なルールやマナーを遵守することをさらに徹底してほしいと思います。挨拶や礼儀を身につけた人は、どんな場においても信頼されます。高校生として「あたりまえのことをあたりまえに行う」人になりましょう。

何度も繰り返していますが、『あたりまえのことをあたりまえに行う生徒、あたりま

えのことがあたりまえに行われる学校』になりましょう。皆さんの良さを十分認めてもらえる学校にしましょう。学生として恥ずかしくない容（かたち）、心、言動を、意識して過ごしてください。私たち教職員も、あなた方に求めたように自分自身に問いかけます。夏休みの期間にもう一度自分のこれまでとこれからを見つめ直してみましょう。



<命を大切にすること>

今年は、3月11日（金）の大震災により、千葉県も大きな被害を受けました。生徒会の皆さんは翌日から何かできることはないかと募金の活動を検討しました。翌週から校内で募金活動を行い、旭市役所に届けました。東北地方の被害は報道で大きく扱われ、救援物資も比較的早くから手当てされていた為、関東、特に地元千葉県の被害については私達もはっきりと把握できておりませんでした。生徒会の皆さんは当時の顧問の坂巻先生からの助言で千葉県の被害情報を集め壁新聞にし、生徒に募金を呼びかけました。また、先日は募金活動の第2弾を行っていたと思います。

私達の身の回りに起きる様々な事件事故、特に今回の大震災のようなことは、忘れてはいけませんが、時間とともに薄れていきます。被災地や被災者は今なお困難な状況にあります。そのことに気を配り続けてくれる生徒の皆さんに、心から感謝します。金額ではありません。被災地の皆さんが今どうしているか、そう思う心遣いが、ありがたいです。

今回の大震災で私達は大きな打撃を受けました。福島原発の事故は今なお現在進行中のとても重篤な事案です。その影響は本当のところ誰も予測できないと思います。危うさを孕んだまま、私達は生活しています。被災地、被災者、その生活や命、私達の生き方、様々なことを感じ、考えなければなりません。私達は人間です。多くの生物に対しても責任があります。ただぼんやりとその日その日を過ごしていることが多いと思いますが、多くのことを学び、考えなければなりません。

この危機的な状況の中で何とか復興する道、原子力事故を収束させていくこと、失われた国際社会での信頼回復を図る為に何ができるか、私達にもできることがあります。それは何よりもまず、自分の命を大事にすること、自分の力を伸ばすこと、自分につながる人を大事にすること、そしてやはり人間として賢くなること、様々な事件や事故、周囲に起きる事象に関心を持つこと、何故と考えること、本当だろうかと思ふこと、特に自分と異なる考えや価値観を大事にすることです。

1学期、生徒の皆さんも私達職員も皆元気で過ごせたことが何より一番うれしいことでした。今生きてここにいるということは意味があることです。私達はそれぞれ役割を持って、この社会に生きています。あなたとあなたにつながる人との絆を大事に本当に大事にして、道半ばで失われた多くの命の分も、しっかりと生きていきましょう。これから長い休みに入ります。事件・事故に巻き込まれることがないように、また加害者にも被害者にもならないよう、精一杯考えて、行動しましょう。9月1日、元気な顔を見せてください。何よりそれが大事です。

～1学期を振り返って～

各学年及び分掌に，1学期を振り返ってもらいました。1学期よかったこと，また，2学期に向けて考えていることを記入してもらったものを，掲載します。

各学年

<1学年>

(よかったこと)

- ・学校が楽しいと思っている生徒が多い。
- ・学校は行くべきもの，行かせるべきものだと思っている生徒と保護者が多い。
- ・校外学習で，ポティロンの森のインストラクターの方に，「素直なすばらしい生徒さんですね。」とほめられた。
- ・部活動に加入し，がんばっている生徒がいる。

(今後について)

- ・日常生活の中で，節度を持って人と接することができる力を向上させたい。
- ・時間を守って行動ができるようにする。
- ・部活動の加入率を上げること。
- ・放課後の時間を有効に使わせたい。

<2学年>

(よかったこと)

- ・統合した学年ですが，徐々に慣れていったこと，特に校外学習の班別行動で親睦を深めた。

- ・漢字検定合格者が多かったこと。

(今後について)

- ・目的意識を持って高校生活を送ってほしい。
- ・出席状況を向上させる。
- ・地道な学習習慣を身につけてほしい。

<3学年>

(よかったこと)

- ・統合してどうなるかと思ったが，落ち着いて授業展開できた。

(今後について)

- ・進路決定に向けて，一層，基本的生活習慣の確立をめざす。

各分掌

<総務部>

(よかったこと)

- ・向陽高校初めての入学式が無事終わったこと。
- ・職員会議の議題を直接 PC 入力としたため，作業の効率化が図れた。
- ・学校要覧をスムーズに作成することができ，次年度以降の型ができあがった。
- ・広報誌「向陽」第1号が完成し，内容もよいものになった。

(今後について)

- ・細部に気を配り，次の式典に臨みたい。
- ・職員会議の議事録の準備，記録をしっかりとる。
- ・学校案内用の写真を増やし，整理する。
- ・開校式典，芸術鑑賞会の準備を早めに行う。
- ・高 P 連松戸地区研修会の成功に向けて，保護者に活躍してもらおう。(保護者と連携して進めていく。)

<進路指導部>

(よかったこと)

- ・3年生進路相談会(5/13)で，相談の姿勢が積極的だとほめられた。
- ・1，2年生対象の進路講演会(6/23)で，ベルク，BuBu'sPaw の店長さんたちが，快く講演をひきうけてくれたこと。また，多くの生徒たちが，講演を聞いて得るところがあったと感想を述べてくれたこと。
- ・3年生の総学教材「基礎力トレーニング」を各クラス5人くらいずつだが，自分でどんどん進めていること。
- ・進路資料室を利用する3年生が非常に増えたこと。
- ・進路希望調査，マナトレ，その他で，学年の先生たちがよく協力してくれたこと。

環境健康部

(よかったこと)

- ・生徒職員の協力を得て，健康診断がスムーズにできた。
- ・大きな事故，けが等がなく，よかった。
- ・統合に向けての準備段階で，環境整備されており，きれいな教室で感謝している。

図書情報部

情報関係

(よかったこと)

- ・ホームページの更新がタイムリーにできた。

(今後について)

- ・「校内のパソコン管理について」，新しいパソコンが導入されるので，使い方等を考えていく。

図書関係

(よかったこと)

- ・生徒が増えたことで，図書館内に活気が出てきた。貸出冊数が増加した。入館者数(貸し出しするしないにかかわらず図書館に来る人)が増加した。
- ・統合による心配事(ルールやマナーが守れない，注意を聞かない，矢切と秋山の生徒のトラブル等)が杞憂に終わり，スムーズに向陽としょかんとしての機能を発揮することができたこと。
- ・リクエストやレファレンスだけでなく，進路や家族，友人関係，恋愛等の相談を多く受けるようになり，図書館(司書)に対する信頼感が増えたように感じたこと。
- ・「絵本読み聞かせ講習会」が大盛況に終わり，アンケートでの評価もよかったこと。
- ・絵本の読み聞かせ方法など，専門的な相談を受けるようになったこと。

(今後について)

- ・生徒の進路相談に対応できるように学年のガイダンス等にも可能な限り足を運ぶようにしたい。
- ・本校生徒の読みたい知りたい気持ちに応えるため，会話などをとおして「今，生徒が求めている情報」を早くキャッチできるように心がけたい。
- ・統合による蔵書整理が終わっていないので，早めに整理したい。

教務部

(よかったこと)

- ・教務部員が共通理解の下，業務に専念した。
- ・統合ということで，いろいろ心配したが，教務部の先生，学校職員の協力もあり，概ねよかったと思う。定期考査で不正行為がなかったこともよかった。
- ・人数が増えたことで，協力，分担して仕事ができるようになった。
- ・教務の仕事で学校内の運営面で，こんなに細かく準備されていることを改めて知った。
- ・様々な点で協力的でよかった。
- ・仕事の流れや係の確認等をプリントしてもらえてよかった。
- ・スムーズに教務の仕事が行われたこと。

(今後について)

- ・主任に仕事が集中しないようにしたい。
- ・生徒の教室移動，チャイム着席(教務部だけでなく，学校全体として)。
- ・定期考査で遅刻や欠席がでないようにする。保健室受験を安易にしないように事前指導する。
- ・入試に向けて，早めの実施要項の見直しや作成。
- ・新しい一歩なので，忙しいのはわかるが，もう少し皆で検討する時間が必要だったと思う。
- ・教務内規をよりいっそう周知するとともに，改訂作業を行い，使いやすいものを作成していく。

生徒指導部

(よかったこと)

- ・統合するにあたって，心配された生徒間等のトラブルがなかったこと。

(今後について)

- ・通学マナー(並列走行，二人乗り，イヤホーン装着走行)を改善させる。